

## 〈資料編〉

## ❖ 新地域ビジョンの検討経緯

新地域ビジョン（淡路地域ビジョン2050）の策定にあたっては、島内3市の代表者や地域住民らで構成する「淡路新地域ビジョン検討委員会」による検討と、多くの地域住民の皆さんと様々な形での意見交換を重ねながら検討を進めました。

### ◆ 淡路新地域ビジョン検討委員会

新地域ビジョンの策定主体として、淡路地域の資源や課題の調査、新地域ビジョン案の検討などを実施しました。

#### （1）開催状況

	開催日	内容
第1回	令和2年 6月17日（水）	○淡路新地域ビジョン策定の趣旨及び検討の進め方について ○現行ビジョン策定以降の主な取組と今後の課題について ○兵庫県の将来予測について
第2回	令和2年 8月20日（木）	○あわじ環境未来島構想の取組について ○島内3市における総合計画について
第3回	令和2年10月30日（金）	○現行ビジョンにおける指標数値の変化について ○県民意識調査から見る淡路島の現状について
第4回	令和3年 1月12日（火）	○新地域ビジョン策定イメージと今後の進め方について ○新ビジョンの骨子につながる“具体的な行動”について
第5回	令和3年 3月23日（火）	○兵庫県将来構想試案について ○淡路新地域ビジョンの構成について
第6回	令和3年 6月29日（火）	○地域デザイン案について ○淡路新地域ビジョンの骨子案について
第7回	令和3年 8月31日（火）	○淡路新地域ビジョンの骨子案の修正検討
第8回	令和3年11月10日（水）	○淡路新地域ビジョンの素案について
第9回	令和3年12月21日（火）	○淡路新地域ビジョンの修正検討
第10回	令和4年 2月22日（火）	○淡路新地域ビジョンの最終検討



## (2) 委員名簿〔敬称略、順不同〕

氏名	肩書き等	備考
山本 聡	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科教授	委員長
澤田 佳宏	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科准教授	副委員長
前田 若男	福良漁業協同組合長	
木下 紘二	株式会社ホテルニューアワジ専務取締役	
堤 由美	AWAJI プラチナ農業女子グループ代表	
森 靖一	株式会社フレッシュグループ代表取締役	
東田 裕美	コミュニティ書動家	
横山 史	おのころデザイン研究所代表	
安居 道彦	医療法人社団いちえ会 洲本市在宅介護支援センター加茂管理者	
原 竜也	ひょうご防災特別推進員	
木戸隆一郎	第10期淡路地域ビジョン委員会副委員長	
堀内 照美	NPO法人島くらし淡路事務局長	
西原 健二	洲本市企画情報部企画課長	
栄井 賢次	南あわじ市総務企画部ふるさと創生課長	
片平 吉昭	淡路市企画情報部まちづくり政策課長	

## ◆ビジョンを語る会

地域の様々な団体や地元有志グループの皆さんと、地域の課題や淡路島の将来像について意見交換を実施しました。

	開催日時	団体・グループ等
第 1 回	令和 2 年 1 0 月 6 日 (火)	淡路市在住のメンバー (11名) (農業者、ペンション経営者、自営業など)
第 2 回	令和 2 年 1 0 月 2 6 日 (月)	南あわじ市、洲本市在住の女性メンバー (10名) (農業者、保育士、主婦など)
第 3 回	令和 2 年 1 1 月 9 日 (月)	洲本温泉観光旅館連盟 (7名)
第 4 回	令和 2 年 1 2 月 2 日 (水)	建設業協会淡路支部青年部会 (11名)
第 5 回	令和 3 年 6 月 1 7 日 (月)	淡路青年会議所 (13名)
第 6 回	令和 3 年 6 月 2 9 日 (火)	(株)パソナグループ若手社員 (17名)
第 7 回	令和 3 年 7 月 2 0 日 (火)	島内 3 市の若手職員 (13名)
第 8 回	令和 3 年 1 0 月 1 4 日 (木)	島内小中学校の教職員 (16名)



〈主な意見〉

分野	意見
暮らし環境	<p>(強み・希望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都会の生活は窮屈。子どもには農業や漁業など体験学習をさせたい。</li> <li>・都会と違ってパーソナルスペースが広くとれてストレス無く過ごせる。</li> <li>・50年後は自動運転での移動やドローンを活用して便利で豊かな島にしたい。</li> <li>・都会から淡路島に来た第一印象は自然と食が豊か。</li> <li>・リモートワークに最適。働く場所として選んでもらえる地域になればいい。</li> <li>・都会では出来ない仕事と農業、芸術などを両立出来る環境がある。</li> <li>・ネットワークでつながって孤独死する高齢者がなく最期まで安心して暮らせる社会になればいい。</li> <li>・災害などもしもの時にも安心して暮らせることが良い地域なんだと思う。</li> <li>・島ということ自体が強みで、特別感がある。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の建物や道路、ライフラインは老朽化していく。更なる選択と集中が必要。</li> <li>・空き家バンクの充実やSNSでの情報発信で空き家の活用促進が必要。</li> <li>・店がチェーン店のように均一化されるのはさみしい。便利さも大事だが、昔からあるものを残し続けることが大事。</li> <li>・災害に強い交通ネットワークを構築する必要がある。</li> <li>・公共交通機関の利用が不便。</li> <li>・大学を卒業しても淡路島での就職先が少ない。</li> </ul>
産業経済	<p>(強み・希望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが先進的な農業に携わっている人たちをみて、農業をやってみたいと思えるような未来があれば素晴らしい。</li> <li>・スマート化を活かして簡単に就農できたり副業が出来たりしたらいい。</li> <li>・淡路島はスモールビジネスをやっている人が多い。大企業が少なく自営業がしやすい環境にある。</li> <li>・若者が起業を前向きに考えられるように規制緩和が進めばいい。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の移送サービスを充実させて、もっと淡路島の食を広めるべき。</li> <li>・淡路島での就職先が少なく、農業・観光業・福祉関係など選択肢が限られている。</li> <li>・ネット環境の整備やPRなど積極的な企業誘致が必要。</li> </ul>
観光	<p>(強み・希望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋の通行料を安くして、気軽に行き来できる島になればいい。</li> <li>・リゾート分野で海外と人材交流をすることで癒しのブランディングができないか。</li> <li>・観光産業をメインにしているマルタ共和国のようなリゾートの島にしたい。</li> <li>・気軽に訪れることが出来るリゾートの島。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界一の吊り橋や鳴門の渦潮など、淡路島ならではのものを観光スポットとして磨き上げて発信する必要がある。</li> <li>・淡路島に長期滞在して周遊してもらうために、道路の整備は必要。</li> <li>・橋の通行料が高い。</li> </ul>
教育	<p>(強み・希望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部にはない地域の特色を活かした学校があればいい。</li> <li>・退職してからもいろんな事を学べる場があればいい。</li> <li>・勉強が嫌いな子や学校に行きたくない子どもたちが、自分の能力を活かせる学校があればいい。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の選択肢が少ない。</li> <li>・島内で教育レベルを揃える必要がある。</li> </ul>

## ◆ ビジョン出前講座

島内の県立高校へ出向き、学生と淡路島の魅力や残したい将来の姿などについて意見交換を実施しました。

### 1 洲本実業高等学校

日 時：令和2年12月17日（木） 13：30～14：30

対象者：1～3年生（26名）

内 容：社会潮流の変化等について講義した後、「淡路島の将来」をテーマにした生徒たちによるグループワークを実施



地域の自慢・未来に残したいもの	30年後の淡路島はどうなしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海や緑が多いところ</li> <li>・レトロな雰囲気がある商店街</li> <li>・優しくて暖かい人</li> <li>・人形浄瑠璃、玉ねぎ、渦潮</li> <li>・国生みの島</li> <li>・おすそ分けの声</li> <li>・地域の方言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の利便性が良くなってほしい</li> <li>・就職先が増えてほしい</li> <li>・ショッピングモールを建設してほしい</li> <li>・今と変わらない田舎を守りたい</li> <li>・自然を残して商店街が発展してほしい</li> <li>・海も川もきれいになってほしい</li> <li>・文化、伝統などが受け継がれてほしい</li> </ul>

### 2 淡路高等学校

日 時：令和2年12月22日（火） 9：50～10：40

対象者：2年生（118名）

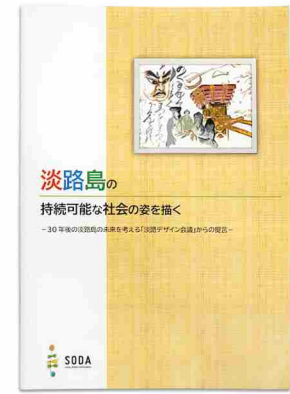
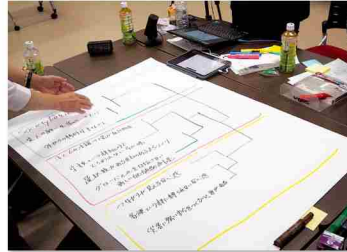
内 容：社会潮流の変化等について講義した後、各クラスの代表者が「地域の良さや淡路島の将来像」について発表



地域の自慢・未来に残したいもの	30年後の淡路島はどうなしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海や山、夕日などの綺麗な景色</li> <li>・人の優しさ、暖かさ</li> <li>・すぐに島外へ行ける場所</li> <li>・近所付き合い</li> <li>・玉ねぎがおいしい</li> <li>・海が近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療が発展してみんなが安心して暮らせるようになってほしい</li> <li>・地産地消が活発になり、活気のある町になってほしい</li> <li>・自然を活かした観光地化が進んでほしい</li> <li>・細い道が整備されてほしい</li> <li>・商業施設が増えて、島内でも買い物やアミューズメントが楽しめる若者に魅力的な町になってほしい</li> </ul>

## ◆ 地域デザイン会議

NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路への委託により、住民有志が集まり地域の将来像を考えるワークショップ（地域デザイン会議）を実施し、新地域ビジョン検討の参考となる地域デザイン案を作成しました。



地域デザイン案→



## ◆ 地域未来フォーラム（くにうみ夢フォーラム）

淡路地域ビジョン委員と一般県民が集まり、新地域ビジョンの検討状況の発表や地域の将来像を考えるグループワークを実施しました。

日 時：令和3年3月13日（土） 13：30～

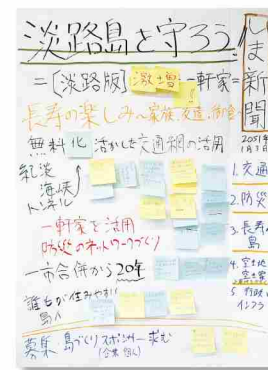
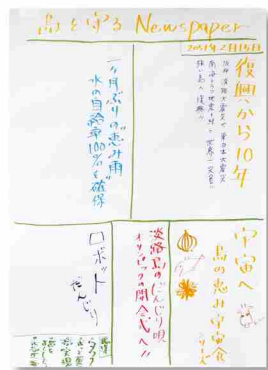
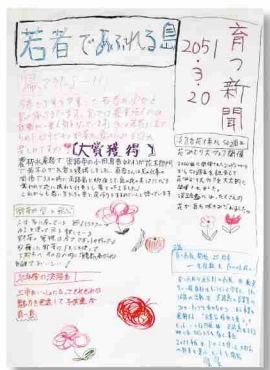
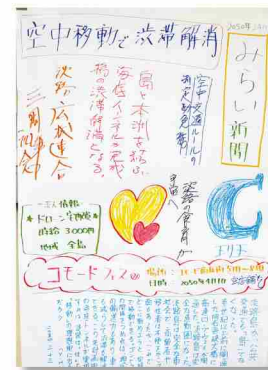
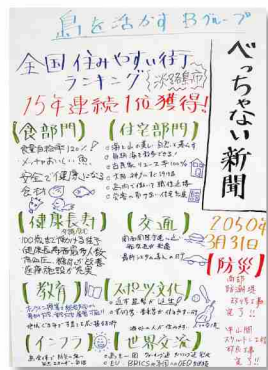
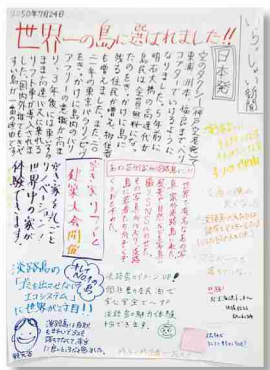
場 所：南あわじ市広田地区公民館

参加者：54名

内 容：1) 淡路新地域ビジョンの検討状況の発表  
2) グループワーク（未来新聞づくり）

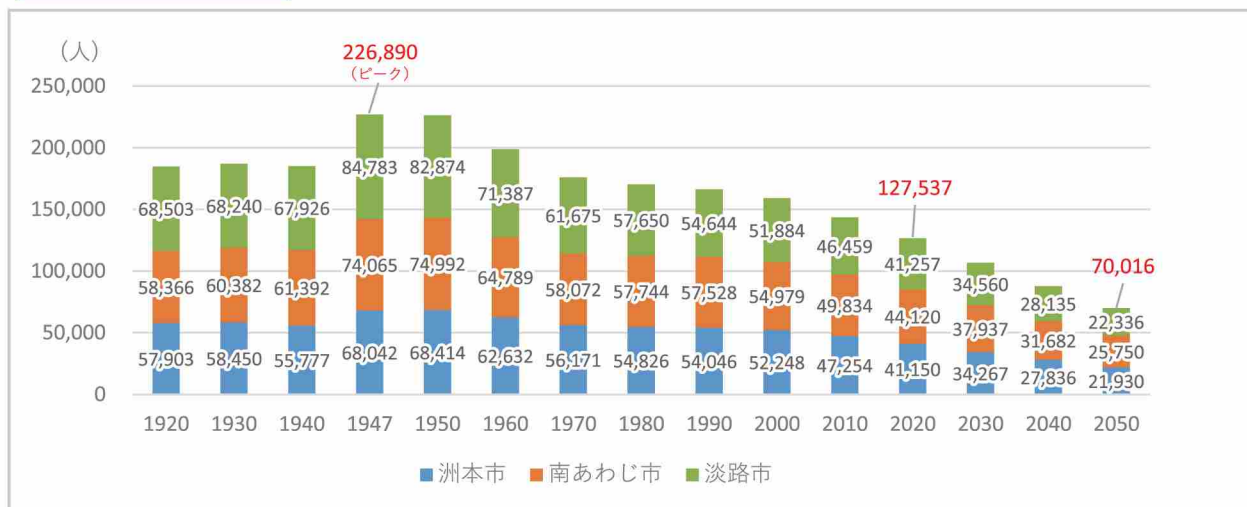


※「未来の淡路島を想像しよう」をテーマに30年後の未来新聞を作成



## ❖ 数字で見る淡路地域

### ▶ 淡路島の人口推移



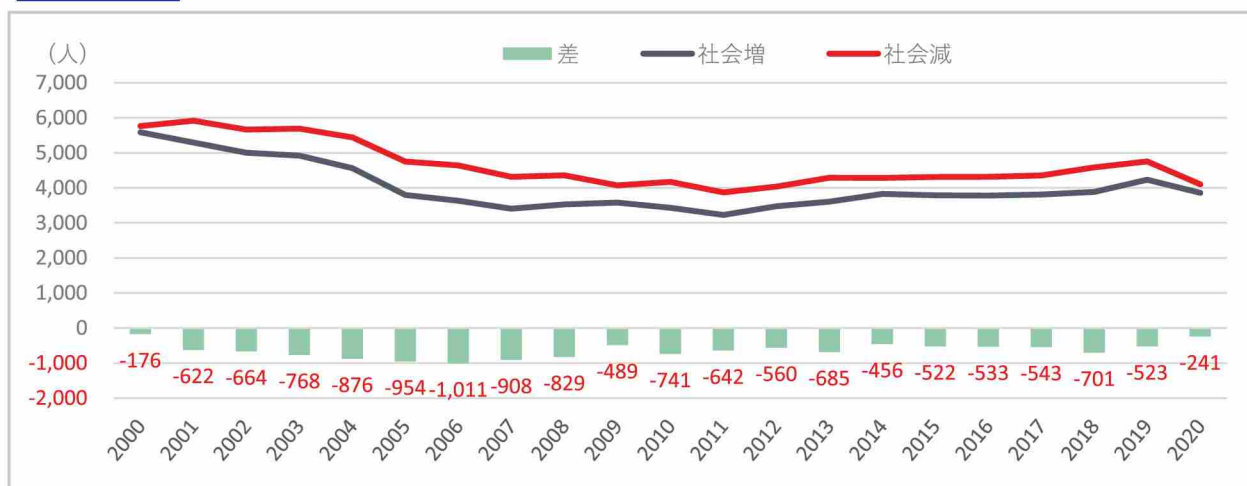
出典：国勢調査及び兵庫県将来推計人口

### ▶ 自然増減



出典：兵庫県推計人口

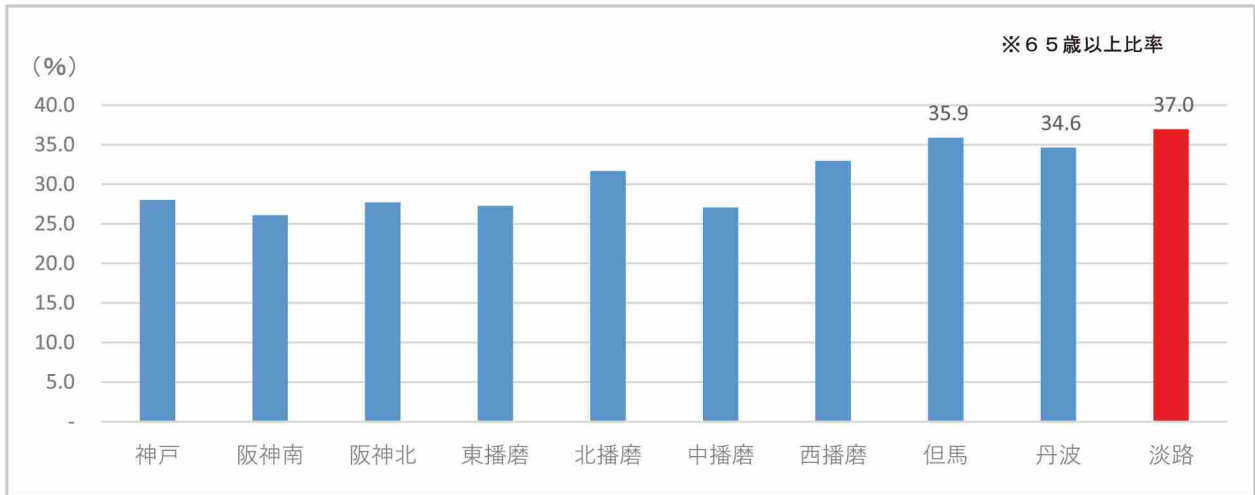
### ▶ 社会増減



出典：兵庫県推計人口

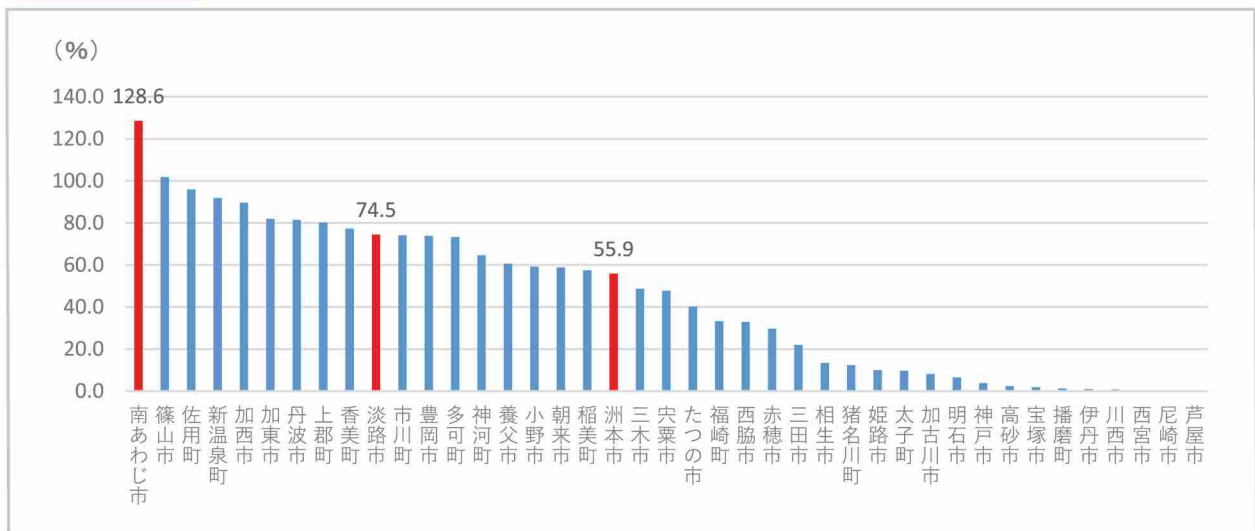


▶ 高齢化率



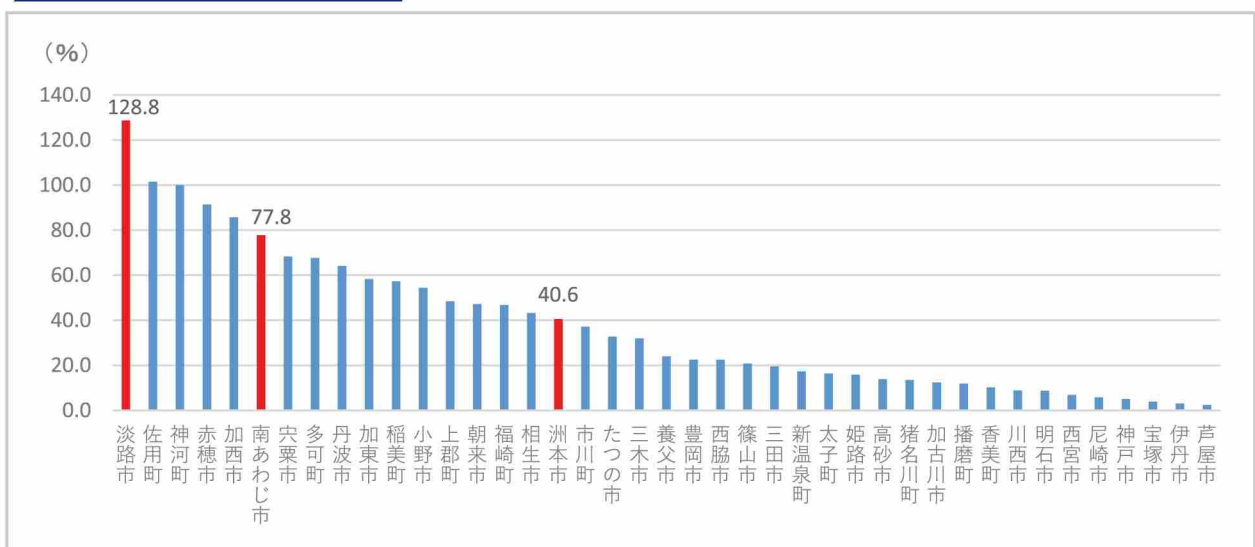
出典：社会福祉統計年報（平成31年3月1日現在）

▶ 食料自給率



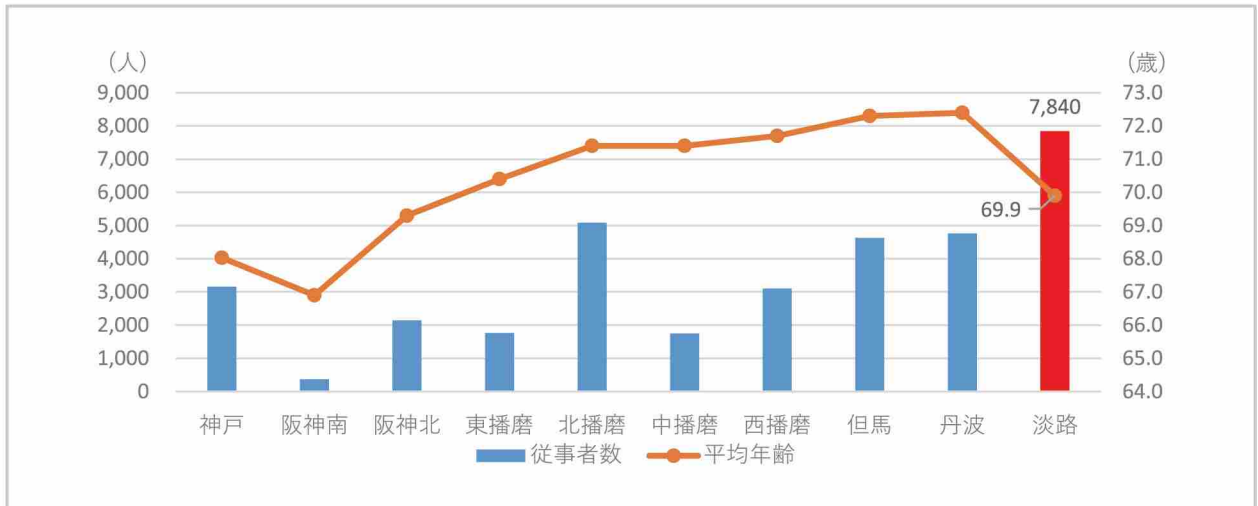
出典：永続地帯 2020 年度版報告書

▶ 再生可能エネルギー自給率



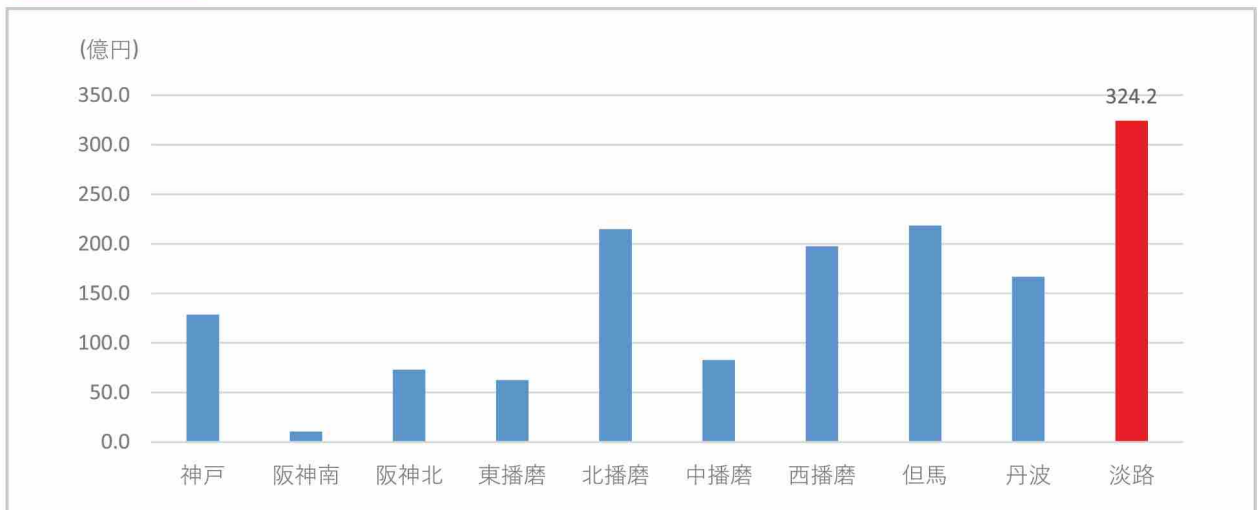
出典：永続地帯 2020 年度版報告書

▶ 基幹的農業従事者数



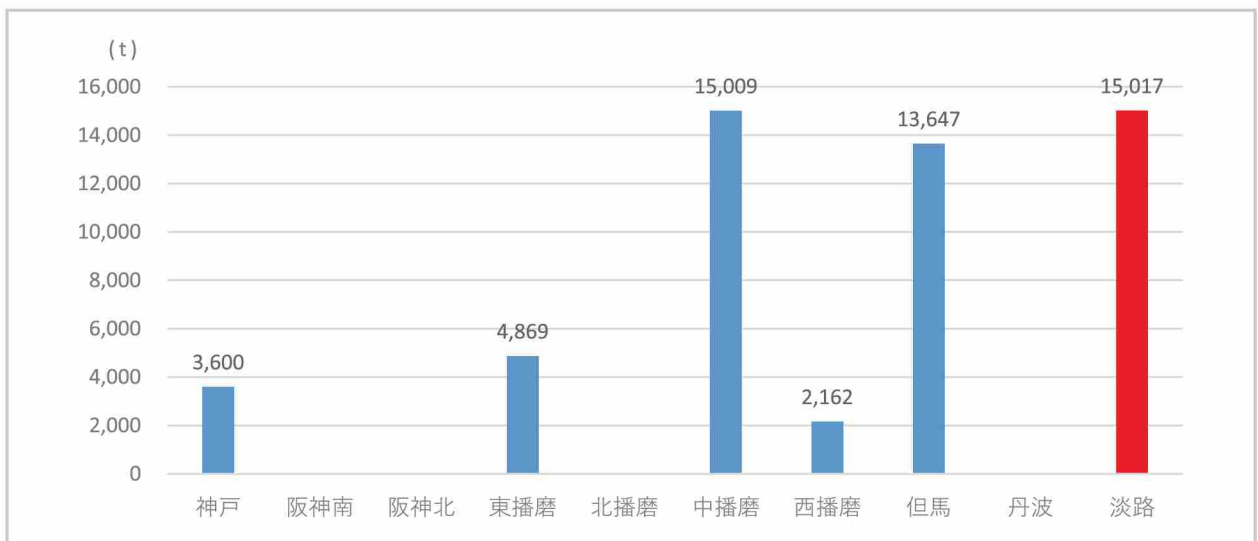
出典：2020年農林業センサス（農林水産省）

▶ 農業産出額



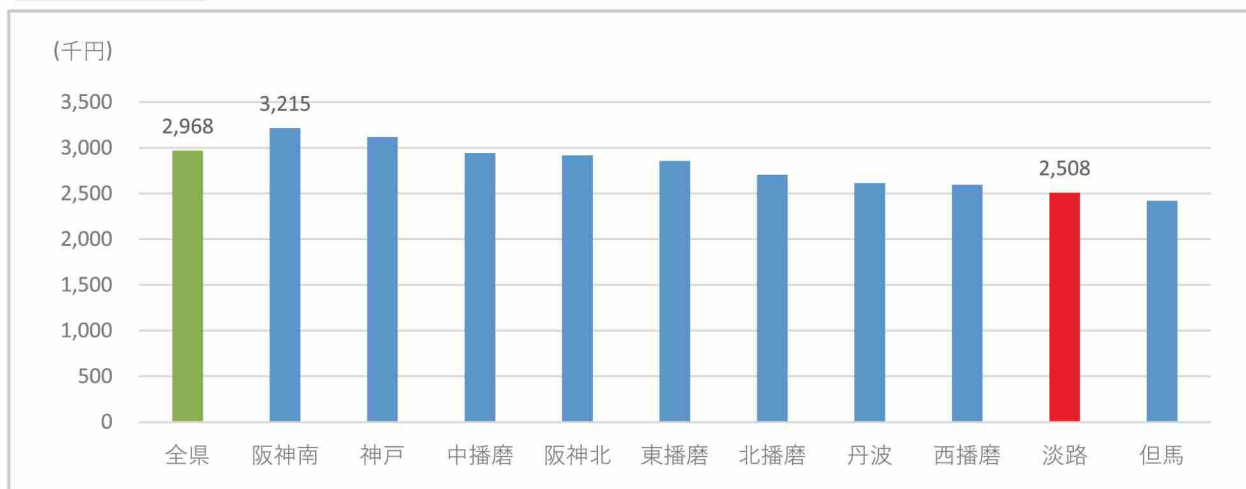
出典：令和元年市町村別農業産出額（農林水産省）

▶ 漁業生産量



出典：平成27年海面漁業生産統計調査（農林水産省）

### ▶ 個人所得額



出典：兵庫県統計課(平成30年度)

### ▶ 自動車保有台数

	自動車台数 (台)	世帯数 (世帯)	世帯当たり台数 (台/世帯)
淡路地域	137,551	52,774	2.6
兵庫県	3,406,581	2,389,688	1.4

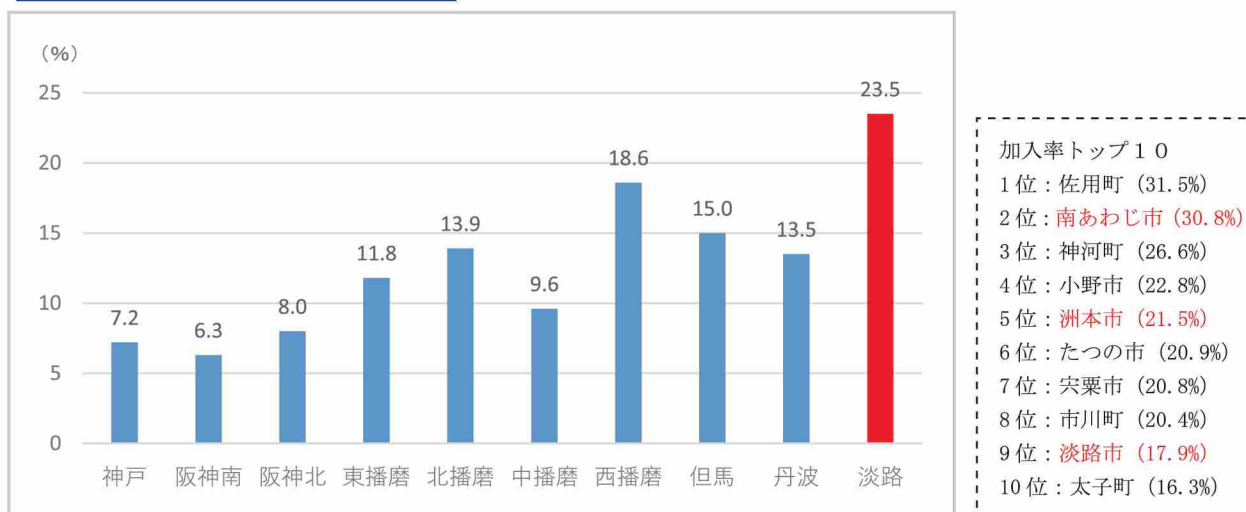
出典：兵庫県統計書(2019年度)、兵庫県推計人口(令和2年4月1日現在)

### ▶ 交通事故件数

	交通事故件数 (件)	死傷者 (人) (うち高齢者数)	死傷者のうち 高齢者の割合 (%)
淡路地域	345	416 (108)	26.0
兵庫県	17,352	20,599 (3,748)	18.2

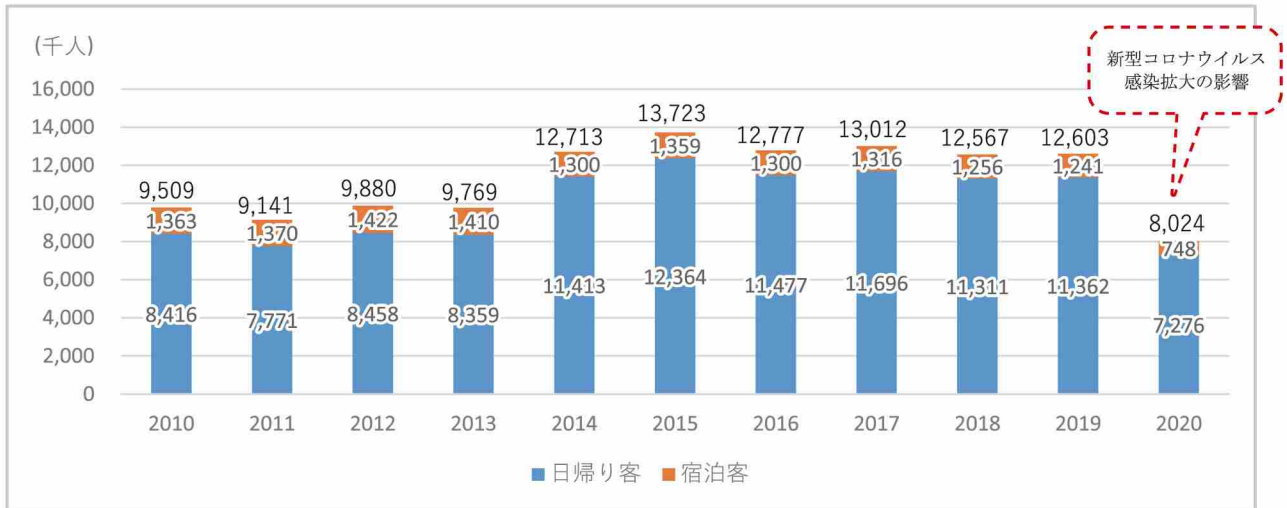
出典：兵庫県交通事故統計(令和2年度)

### ▶ 兵庫県住宅再建共済制度加入率



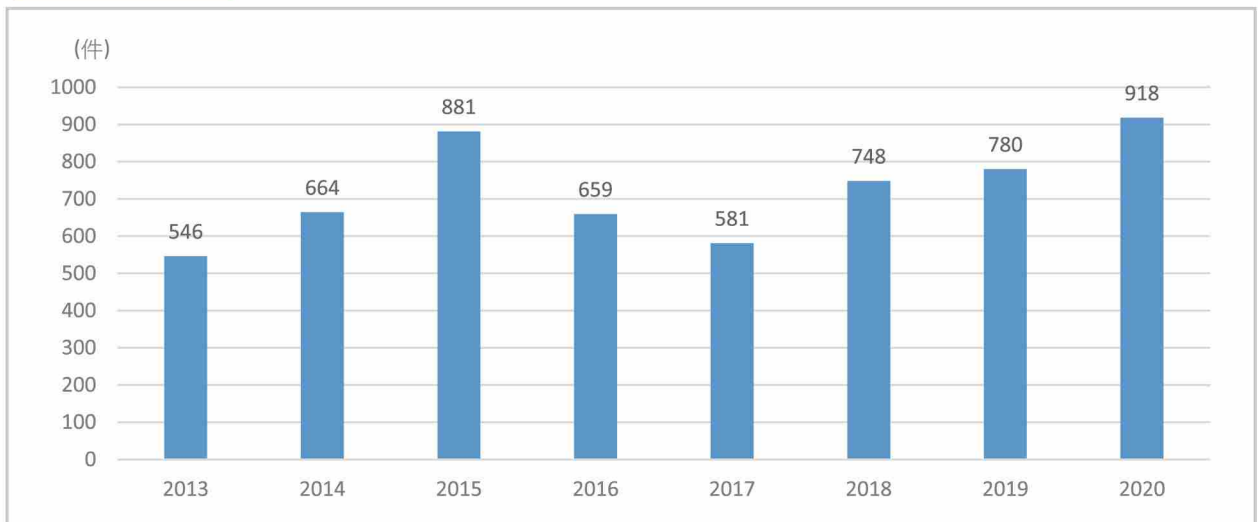
出典：(公財)兵庫県住宅再建共済基金調べ(令和3年11月末現在)

▶ 観光客入込数



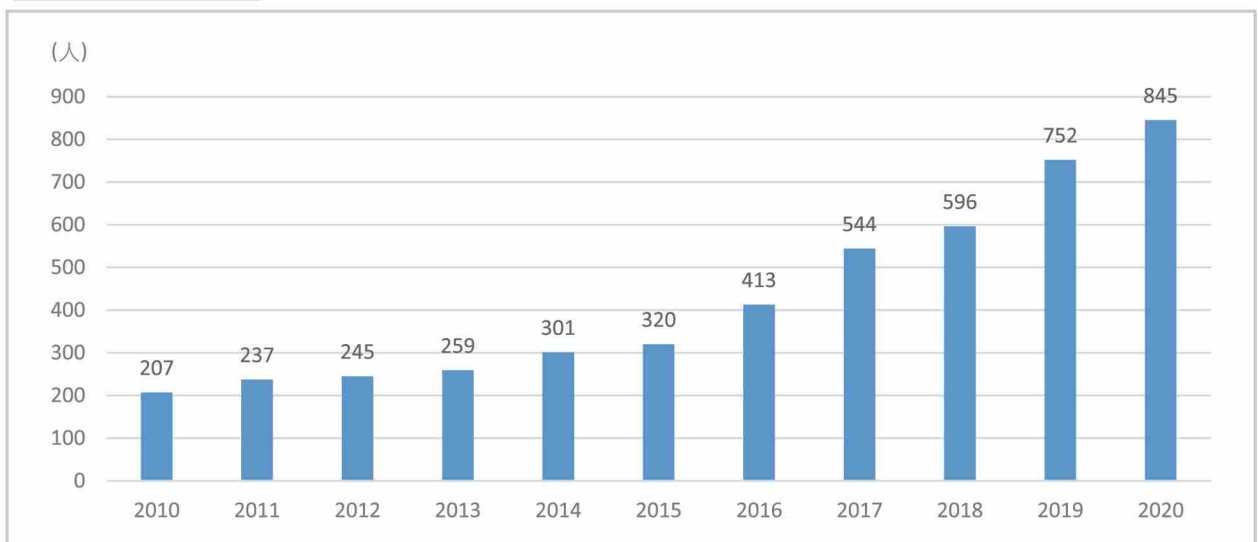
出典：兵庫県観光客動態調査（令和2年度速報値）

▶ 移住相談件数



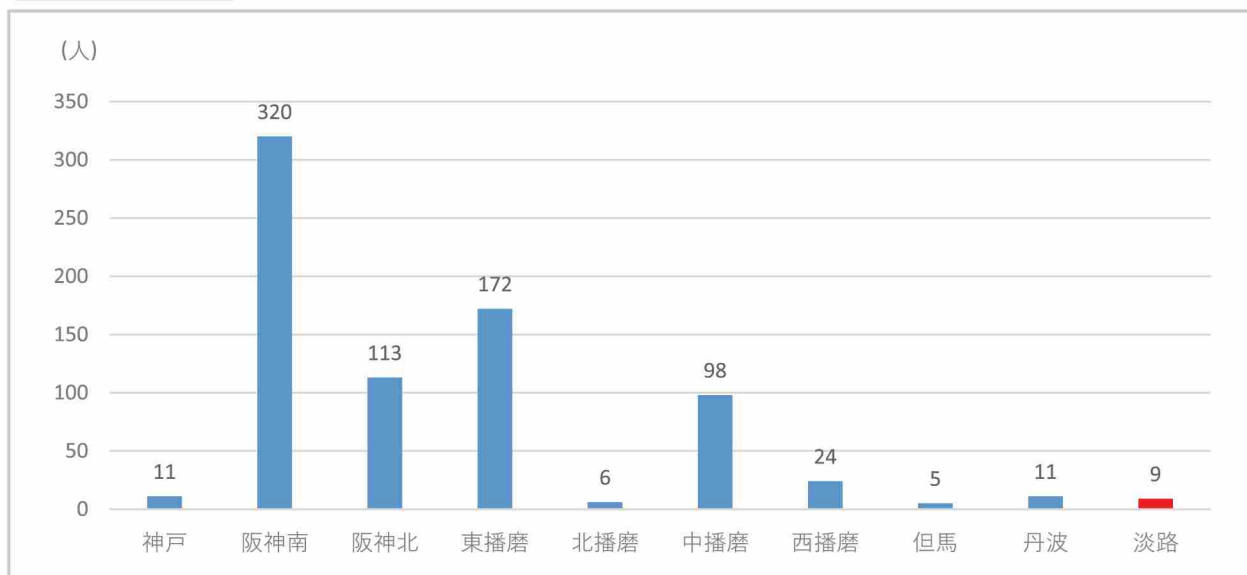
出典：淡路県民局調べ

▶ 外国人労働者数



出典：兵庫労働局「外国人雇用状況の届出状況」

▶ 待機児童者数



出典：兵庫県健康福祉部発表（令和3年4月1日現在）

表紙スローガン書：津名高等学校書道部  
矢野 明日香さん

淡路新地域ビジョン検討委員会・兵庫県淡路県民局  
(事務局)

兵庫県淡路県民局交流渦潮室交流渦潮課

〒656-0021 洲本市塩屋 2-4-5

電 話 0799 (22) 3541

F A X 0799 (24) 6934

E-mail awajiuzu@pref.hyogo.lg.jp